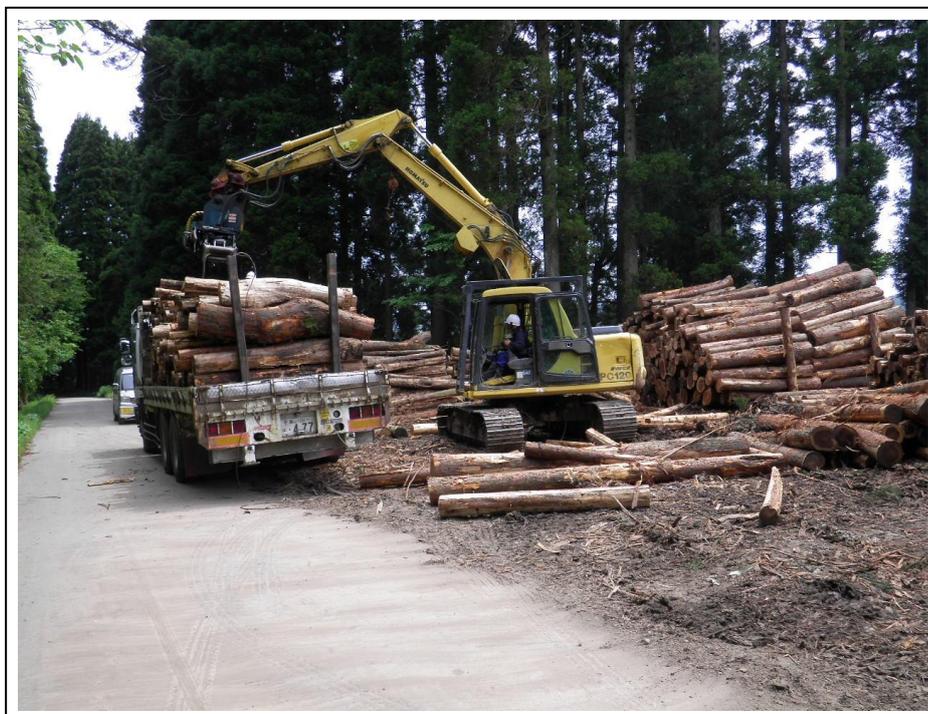


魅力ある林業の構築と健全な森づくりをめざして

平成 24 年度版 「富山県森林・林業白書」

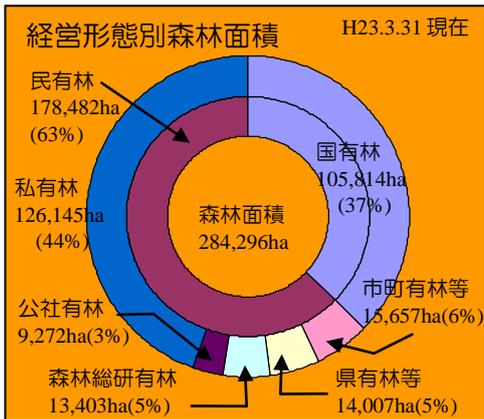


森林ボランティアによる森づくり活動（富山市割山地内）

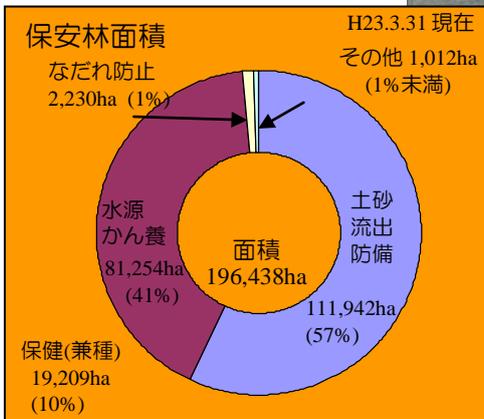


搬出されるスギ間伐材（氷見市触坂地内）

I 富山県森林・林業の姿



本県の森林面積は 284 千 ha で、総土地面積 425 千 ha の 67% を占めており、森林率は全国とほぼ同じとなっています。



森林の公益的機能の維持・増進が重要な森林を対象に保安林に指定しており、保安林率は 69.0% と全国都道府県で第 1 位となっています。

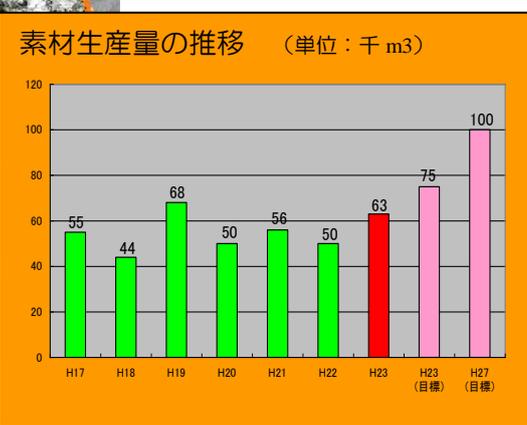
目次

- I 富山県森林・林業の姿…………… 1
- II 富山県森林・林業振興計画のポイント…………… 3
- III 計画実現のための重点対策と
平成 23 年度の主な取組み…………… 5
 - 1 県民参加による多様な森づくりの推進のための重点対策
 - 2 魅力ある林業の構築のための重点対策
- IV 富山県森林・林業振興計画の目標指標と実績…………… 14
- V 平成 23 年度の森林・林業に関する主な出来事…………… 15

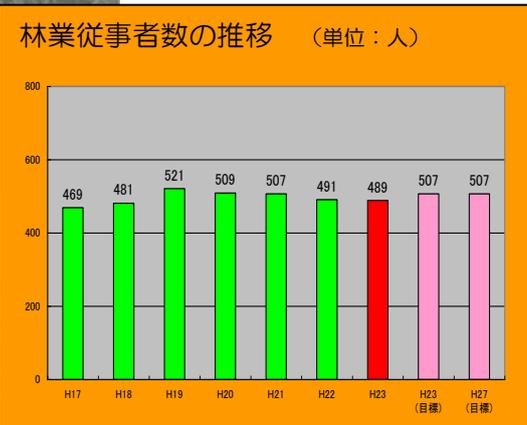




地球温暖化防止に向けた、二酸化炭素の吸収源対策として、間伐を重点とした森林整備を推進しています。



新設住宅着工戸数の減少や、木材・木材製品価格の低迷により、素材生産量は停滞しています。



間伐を重点とした森林整備の推進により、林業従事者は減少傾向からほぼ横ばいで推移しています。

カシミール3D: Copyright (C) 1994-2006 SUGIMOTO Tomohiko
 スカイビュースケープ: デジタル・アース・テクノロジー(株)

II 富山県森林・林業振興計画のポイント

本県森林・林業の現状と課題

目標

基本施策

施策の体系

とやまの森

- ・里山が活用されなくなっている
- ・人工林の適切な管理がされなくなっている



- ・富山県森づくりプランに沿った森づくり

森林施業と林業生産

- ・林業生産コストが高く、木材価格が低迷し、林業生産活動が低下
- ・地球温暖化防止対策の推進



- ・施業集約化団地の形成による林業の低コスト化の推進
- ・路網整備の推進
- ・間伐等森林整備の推進

県産材の利用促進

- ・県産材の流通が複雑・高コスト
- ・生産された県産材が十分に活用される体制が整っていない



- ・流通の低コスト化
- ・県産材製品を供給する製材工場等の体制整備
- ・県産材利用の促進と木の良さの普及啓発

人づくり

- ・林業担い手の減少
- ・森林ボランティアによる森づくり活動の取組拡大



- ・施業集約化など低コスト化推進に必要な森林技術者の養成
- ・担い手としての森林組合の経営基盤の強化
- ・県民全体で支える森づくりの体制整備
- ・技術開発と普及指導の推進

山を守る

- ・山村の人口減少、高齢化の進行
- ・近年、豪雨災害などが頻発
- ・カシノナガキクイムシによるナラ類の被害量が急増している



- ・生活環境の整備と産業の振興
- ・山地災害対策の推進
- ・森林病害虫防除対策の推進

魅力ある林業の構築と健全な森づくりをめざして

1 森を活かす

1 多様な森づくりの推進 (富山県森づくりプラン)

- ・「生産林」「混交林」「里山林」「保全林」の区分に応じた森林整備

2 地球温暖化防止に向けた森林整備

3 健全な人工林の育成と生産基盤の整備

- ・健全な人工林の育成
- ・林業生産コストの低減と森林・山村を守る路網整備

4 森づくりを支える県民意識の醸成

2 木を使う

5 県産材の安定供給体制の整備

- ・県産材の生産・流通体制の整備
- ・需要者ニーズに対応した加工体制の整備

6 県産材の利用拡大

- ・県産材の利用の拡大生産・流通体制の整備
- ・木質バイオマスの利用促進

3 人を育てる

7 担い手の確保・育成

- ・林業担い手センター等による担い手の確保と定着への支援
- ・林業カレッジによる担い手の育成

8 経営基盤の強化

- ・森林組合の経営基盤の強化
- ・農林水産公社の経営改善
- ・県営林の適正な管理・経営

9 森林ボランティア活動への支援

10 技術開発と普及指導の推進

- ・技術開発の効率的推進
- ・普及指導の推進
- ・県民への情報提供

4 山を守る

11 魅力ある山村づくり

- ・生活環境の整備や定住環境の向上
- ・特産林産物の生産振興

12 森林の適正な管理と保全

13 防災対策等の推進

平成23年度の主な取組内容

計画実現のための重点対策

- 水と緑の森づくり推進事業
 (県民参加の森づくりフェア開催)
- 里山再生整備事業
- みどりの森再生事業
- 造林事業・県単独森林整備事業
- 元気な森再生事業・林道事業
- 森林吸収源対策モデル事業
- 路網整備地域連携モデル事業
- 森林境界明確化支援事業
- 高性能林業機械等整備助成事業
- 施業集約化推進事業
 (集約化計画策定の支援など集約化の推進)
- 森林整備地域活動支援交付金事業
- とやまの森づくり普及啓発推進事業
- 木材産業体質強化緊急対策事業
- 流通経費支援事業
- 木材加工流通施設整備事業
- 県産材等需給量拡大事業(販路拡大支援)
- 県産材活用促進事業 (県産材を使った公共施設の木造化・木質化への支援、とやまの木で家づくりモデル事業)
- 地域材利用開発事業
- 県産材利用促進事業(県産材遊具の設置)
- 木質バイオマス利用施設等整備事業
- 木材技術開発研究費
- 林業担い手センター活動推進事業
- 富山県林業カレッジ運営推進事業
 (低コスト生産を担う人材の育成)
- 森林組合指導事業
- 林業構造改善対策事業
- 公営造林推進費、県営林造成事業
- とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業
 (登録ボランティア団体の活動強化)
- 森林・木材技術開発研究費
- 林業普及指導推進事業
- スギ花粉発生源対策事業(優良無花粉スギの生産)
- とやまの森づくり総合情報システム事業
- フォレストコミュニティ総合整備事業
- 特用林産対策事業
- 保安林整備管理費
- 森林病害虫防除事業・里山再生整備事業
 (カシノナガキクイムシの防除・枯損木除去)
- カシノナガキクイムシ大量捕獲実証事業
- 森林病害虫緊急対策事業(被害の予防)
- 治山事業(復旧・予防・海岸・保安林整備等)

県民参加による
多様な森づくりの推進

魅力ある林業の構築

県民参加による
「里山林」と「混交林」の
整備の推進

- 水と緑の森づくり税を活用した里山の再生整備と混交林の整備
- 「森の寺子屋」による森林環境教育の推進

持続可能な
林業経営の推進

- 施業集約化モデル団地の設定による木材生産の促進
- 作業路網整備の支援
- 高性能林業機械の整備支援

県民による県産材の
有効利用の促進

- 水と緑の森づくり税を活用した県産材の利用促進
- 木質バイオマスの利用促進

県産材の新たな
流通システムの構築

- 直送方式による流通の低コスト化の促進

森林ボランティア
活動への支援

- とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア活動への支援
- とやまの森づくり総合情報システムによる県民への森づくり情報の提供

とやまの林業を支える
人材の育成

- 富山県林業カレッジの研修による魅力ある林業に期待される役割に応じた人材の育成

魅力ある山村社会の形成と森林の適正な管理・保全の促進

- 地域住民による森林管理及び利活用の促進
- 地域林業の振興による山村経済の活性化

※ 青地は、「県民参加による多様な森づくりの推進」のための重点取組

※ 赤字は、「魅力ある林業の構築」のための重点取組

※ ①はH23新規事業 ②は水と緑の森づくり事業 ③は富山県森林整備・林業再生基金を活用した事業

Ⅲ 計画実現のための重点対策と平成 23 年度の主な取組み

1 県民参加による多様な森づくりの推進のための重点対策

「森を活かす」ー県民参加による「里山林」と「混交林」の整備の推進ー

- 「里山林」や「混交林」の整備については、県民参加による森づくりの観点から、水と緑の森づくり税を活用し、進めることとします。
 - ・ 「里山林」は「里山再生整備事業」により、地域住民等との協働により整備を進めます。
 - ・ 「混交林」は「みどりの森再生事業」により整備を進め、この混交林の整備に必要な県産広葉樹苗の育成やその植栽の一部についても、県民参加により進めることとします。
- 「森づくりを支える県民意識の醸成」については、水と緑の森づくり税を活用した「とやまの森づくり普及啓発推進事業」により、フォレストリーダーが指導する「森の寺子屋」（出前講座や森林教室）を開催します。

[平成 23 年度に講じた施策]

- 水と緑の森づくり税を活用した「里山林」の整備
- ① 市町村、地域の皆さんとともに、集落周辺の里山の広葉樹林や竹林など再生整備に取り組みました。

【実績】里山整備に取り組んで1～3年目の地区

- ・ 72地区（12市町）556ha
 - ・ 地域住民等の参加人数 2,180人
- 4年目以降の地区（H23より対象）
- ・ 56地区（14市町）531ha
 - ・ 地域住民等の参加人数 2,118人

地域住民による里山林の整備
砺波市寺尾地区



- ② 主要道路沿線などで、カシノナガキクイムシの被害を受けた枯損木を除去しました。

【実績】・41地区（14市町）3,367m³

◎ 整備事例：魚津市坪野地区

〈里山整備前〉



〈里山整備後〉林内



遠景



- ③ 里山の適切な管理を進めるため、里山再生整備事業を実施している地域住民等に里山の管理の継続方法や竹林の新たな利用方法の体験、研修等を行いました。

【実績】

- ・ 穂先タケノコの利用の普及
富山県地産地消フェアにおいて穂先タケノコの試食提供 7月3日 500食分
- ・ とやまの竹資源ネットワークの活動
平成24年3月末現在 115団体参加
竹材回収車（かぐや竹舟号）の運行案内、調整講習会開催、かぐやの竹利用応援事業事務等
- ・ かぐや姫の里の集いの開催
竹林の安全な整備のための技術講習、実習、竹材の利用の研修等、10月30日 133名参加
- ・ 里山リーダーセミナーの開催 県内各地9回

かぐや姫の里の集い 開催状況



● 水と緑の森づくり税を活用した「混交林」の整備

- ① 風雪被害林を受けた人工林や、手入れ不足で過密となった人工林をスギと広葉樹の混交林に誘導するための整備を実施しました。

【実績】・風雪被害林の整備 41.7ha ・過密人工林の整備 170.9ha

- ◎ 整備事例：南砺市砂子谷 地内（風雪被害林整理）

〈整備前〉



〈整備後〉



〈混交林化へ誘導〉



- ② 混交林の整備などに必要な県産広葉樹苗を県民の皆さんとともに育てる「みどりの里親事業」を実施し、幅広い植樹活動に使用しました。

【実績】・とやまの森づくりサポートセンターでブナ、ミズナラなどの広葉樹苗 20,000 本を育成

企業の森づくり活動（県産広葉樹苗の植栽）



● 森づくりを支える県民意識の醸成

- ① 森林ボランティア団体等の表彰と、「水と緑の森づくり事業」に取り組んでいる団体が参加する、見て触れて体験し、交流する「県民参加の森づくりフェア」をとやま森の祭典と併せて開催しました。

【実績】・5月26日 朝日町棚山「棚山ファミリーランド」で開催 約2,000人参加

- ② 11月に策定した「富山県森づくりプラン（後期計画）」について、幅広く県民に紹介し後期5年間の森づくりへの理解醸成や意識の高揚を図るため、「県民参加の森づくりフォーラム」を開催しました。 【実績】・11月13日 富山市「ボルファート富山」で開催 約500人参加

- ③ 小中学校等への森林環境教育を推進するため、フォレストリーダーによる「森の寺子屋」を開催しました。 【実績】・「森の寺子屋」の開催 95回

森の寺子屋の開催



県民参加の森づくりフェアの開催



[平成24年度に講じる施策]

● 水と緑の森づくり税を活用した里山林の再生整備と混交林の整備

- ① 地域住民との協働による里山林の整備、風雪被害林や過密人工林、さらには竹林が侵入した人工林など、スギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を進めます。
- ② 自立が困難な一定の里山整備地区については、事業開始から6年目以降も、地域住民による里山の維持管理活動を支援します。

● 「森の寺子屋」による森林環境教育の推進

「森の寺子屋」の指導者となる富山県フォレストリーダーを養成し、森林環境教育の推進を図ります。

「木を使う」ー県民による県産材の有効利用の促進ー

- とやまの森づくりにつながる県産材の有効利用を県民とともに進めるため、「県産材アドバイザー」の活動支援など従来からの取組みに加え、県産材住宅への助成など、県産材を利用した住宅建設の促進に取り組めます。
- 水と緑の森づくり税を活用し、県内で開催されるイベントへ県産材積み木1万ピースの貸し出しや、生徒・学童机天板の県産材への置換えや公共施設等の内装木質化への支援などにより、県民にとやまの木の良さを分かってもらえるよう、積極的なPRに努めます。

[平成23年度に講じた施策]

- とやまの木で家づくりモデル事業
県産材を活用した住宅の新築・増改築に対して助成しました。
(補助単価5千円/m³~2万円/m³)

【実績】

- ・助成棟数 98棟

- 「とやま木づかいフェア」の開催
県民に木の良さを理解してもらうとともに様々な木材利用を普及するため、「とやま木づかいフェア」を開催しました。

【実績】

- ・企業ブース等での木造住宅、家具等のPR
- ・木工体験教室等の普及啓発コーナー
- ・サテライト会場での木造公共施設等のPR
- ・木造住宅に関するセミナー等の開催

- 水と緑の森づくり税を活用した県産材の利用促進
とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、県産材を使った木製品の設置や公共施設の木質化を支援しました。

【実績】

- ・とやま県産材遊具貸出 64回
- ・県産材こどもの城づくり事業(屋外遊具の設置) 2箇所(さみどり幼稚園、二塚保育園)
- ・森に親しむ学び舎づくり事業
学童用机天板の置換え 11校(1,081枚)
特別支援学校用机・椅子の配布 9校(机 33台、いす 28脚)
- ・とやま木育推進事業
県産材遊具の配布を15施設へ配布

モデル事業を活用した県産材住宅



木づかいフェアの開催



とやまの木を使った遊具の開発



[平成24年度に講じる施策]

- 県産材を利用した住宅建設の促進
県産材を使用した住宅の新築又は増改築に助成します。
- 木造公共建築物等の推進
モデル的な木造公共建築物の整備等における県産材使用に対し助成します。
- 水と緑の森づくり税の活用などによる『木育』の推進
県産材を用いた特別支援学校用の机・椅子や屋外の大型遊具の設置などにより、木を身近に使うことで、人と木と森との関係を積極的に考えられる豊かな心を育む『木育』を推進します。

「人を育てる」ー森林ボランティア活動への支援ー

- とやまの森づくりサポートセンターを通じたボランティア団体や企業による森づくり活動を支援します。
- 「とやまの森づくり総合情報システム」を活用し、とやまの森の現状や、水と緑の森づくり税を活用した森づくり事業の実施状況、森林ボランティアや企業による森づくり活動などの情報を県民にPRすることで、県民参加による森づくり活動の裾野拡大を進めます。

[平成 23 年度に講じた施策]

- とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア活動への支援

- ① ボランティア団体等と森林所有者との橋渡し
- ② 「サポセンのあゆみ」や広報資料の作成・展示等
- ③ 情報提供や新規団体等の相談窓口の設置
- ④ 安全機器や林業用具の貸出、保険料の支援
- ⑤ 技術研修（森づくり塾）の開催
- ⑥ 登録団体の交流支援など

【実績】

- ・平成 24 年 3 月末現在登録団体等
83 団体（3,205 人、内個人 70 人）、45 企業

- とやまの森づくり総合情報システムによる県民への森づくり情報の提供
とやまの森づくりホームページにより、「水と緑の森づくり事業」の実施状況を情報発信しました。

【実績】

- ・とやまの森づくりホームページで公開した情報
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/index.html>
アクセス件数 36,000 件（平成 24 年 3 月 31 日現在）

伐採木竹を処理するチップパー機の貸出し



技術研修（森づくり塾）の開催



[平成 24 年度に講じる施策]

- とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア活動へのさらなる支援
登録ボランティア団体の自主的な安全講習会開催への支援など引き続き活動強化を進めます。
- とやまの森づくり総合情報システムによる県民への森づくり情報の提供
とやまの森づくりホームページを通じて、水と緑の森づくり税を活用した森づくり事業の実施状況、森林ボランティアや企業による森づくり活動などの情報を提供します。

トピックス 水と緑の森づくり税の延長・拡充と富山県森づくりプラン（後期計画）の策定

平成 23 年度までとなっていた「水と緑の森づくり税」は県民等意識調査（平成 22 年 11～12 月）やタウンミーティングなど県民の意見を踏まえ、平成 28 年度まで 5 年間延長・拡充するとともに、これまでの森づくり事業の実績やとやまの森をめぐる情勢変化に対応した「富山県森づくりプラン（後期計画）」（平成 23 年 11 月）を策定し、カシノナガキクイムシによる被害跡地への実なる木の植栽や、優良無花粉スギの植栽等の新たな取組みも加え、平成 24 年度以降も引き続き「水と緑の森づくり税」を活用して、県民参加による森づくりに取り組んでいくこととしています。

2 魅力ある林業の構築のための重点対策

「森を活かす」—持続可能な林業経営の推進—

- 間伐材等の県産材を利用することにより、森林整備に必要な資金を森林所有者に還元し、“植える（植栽）→育てる（保育）→収穫する（伐採）”という「循環する森づくり」を進め、森林整備を促進します。
 - ① 施業集約化モデル団地の設定による木材生産の促進
 - ② 低コスト作業路網の整備や、高性能林業機械の導入支援

[平成23年度に講じた施策]

- 富山県森林整備・林業再生基金の活用
富山県森林整備・林業再生基金（H21年6月設置、総額約23億円）を活用し、川上では、施業集約化団地での間伐や作業路網、高性能林業機械の整備により持続可能な林業経営を推進するとともに、川下では、木材加工流通施設の整備や公共施設の内装木質化、地域材利用開発など、県産材の利用促進に重点的に取り組んでいます。
平成23年度には、新たに約19億円の基金を積み増し、平成26年度までの3年間基金事業を延長して取り組めます。

- 施業集約化による木材生産の促進
施業の集約化を進めるためには森林所有者の特定や境界の明確化が前提となることから、境界や所有者が不明で整備が進まない森林において、森林境界の明確化作業に対して支援しました。

【実績】

- ・ 施業集約化団地数…………… 113箇所
- ・ 森林境界明確化面積…………… 474ha

- 作業路網及び高性能林業機械の整備
 - ① 県内の施業集約化に取り組む地区を優先に、素材生産等施業を効率的に行うためのネットワークとなる作業道や作業路の整備に支援しました。

【実績】

- ・ 作業道開設…………… 31km
- ・ 作業路開設…………… 112km

- ② 県内の施業集約化に取り組む地区を優先に、効率的に伐採等作業を進めるため、高性能林業機械の導入に支援しました。

- ・ ハーベスタ 2台 ・ スイングヤーダ 2台
- ・ フォワーダ 1台 ・ グラップル付トラック 2台

森林所有者等による森林境界明確化作業



施業集約化地区における間伐材搬出状況



トピックス 森林法の一部改正、森林・林業基本計画の変更

平成23年4月に、「森林・林業再生プラン」を法制面で具体化するため、「森林法」が一部改正されました。今回の改正では、現行の「森林施業計画」が集約化を前提に路線の整備等を含めた「森林経営計画」に改められたほか、森林施業に必要な他人の土地への使用権の設定手続の改善、無届伐採が行われた場合の造林命令や伐採中止命令の新設、新たに森林の土地の所有者となった旨の届出制度の創設などが盛り込まれました。

平成23年7月には、森林・林業基本計画が変更され、適切な森林施業の確保、施業集約化の推進、路網整備の加速化、人材の育成等「森林・林業再生プラン」の実現に向けた取り組みが示されました。

- 地球温暖化防止に向けた森林整備の推進
二酸化炭素の森林吸収量確保に向け、スギ人工林の間伐や広葉樹林の整備など森林整備を進めました。
(平成 19 年度から6年間で 12,700ha の森林整備を実施することとしています。)

【実績】

・ 造林事業	762 ha
・ 治山事業	127 ha
・ 水と緑の森づくり事業	303 ha
・ 県単独森林整備事業等	89 ha
・ 森林吸収源対策モデル事業	501 ha
・ その他(森林総研造林等)	425 ha
計	2,207 ha (H19~23)

間伐を実施したスギ人工林



[平成 24 年度に講じる施策]

- 施業集約化による木材生産の促進
森林境界明確化作業など施業集約化への支援を実施し、取り組みの拡大を進めます。
- 作業路網及び高性能林業機械の整備
施業集約化に取り組む地域での作業路網や高性能林業機械の整備を重点的に支援し、林業の生産性向上を目指します。
- 間伐等森林整備の推進
二酸化炭素の森林吸収量を確保するため、引き続き、間伐等の森林整備を推進します。

「木を使う」ー県産材の新たな流通システムの構築ー

- 県産材の安定的供給体制の構築を図るため、流通コストの低減と県産材の利用拡大を目指した体制づくりを進めます。
- 新たな流通システムの構築のため、出材者から製材工場関係者間で合意形成を図ります。

[平成 23 年度に講じた施策]

- 県産材の流通体制の整備
- ① 「富山県森林整備・林業再生基金」を推進する協議会の中で、出材者と製材関係者との県産材安定供給の締結に向けた具体的な協議を進めました。
協定が締結されたもののうち、新たな木材加工施設整備が必要な施設については、「森林整備・林業再生基金」を活用して支援しました。

【実績】

- ・ 木材加工施設整備 2箇所
- ・ 山元貯木場整備 2箇所
- ・ 間伐材の流通経費支援 3件

- ② 緊急雇用対策の支援制度を活用し、県産材の活用促進のため、森林組合、素材生産業、製材業、工務店などの異業種連携への支援や県産材を使用した住宅のPRを実施しました。

【実績】

- ・ とやまの木の家オープンハウスの開催
- ・ 県産材家具等の商品開発、販売支援

再生基金により整備した木材乾燥施設



[平成 24 年度に講じる施策]

- 流通の低コスト化
 - ・ 安定取引協定の締結などによる出材者と製材関係者との連携と合意形成を進めます。
 - ・ 木材加工流通施設整備を支援し、取り組みの拡大を進めます。

「人を育てる」ーとやまの林業を支える人材の育成ー

- 林業カレッジの研修により期待される役割に応じた人材の育成を図ります。
 - ① 路網計画（低コスト作業路を含む）や長伐期施業計画、さらには森林収支計画などの総合的な広域プランを立てることのできる人材（森づくりプロデューサー）の育成
 - ② 低コスト作業道の開設など、県産材の低コスト生産を担う技術者の育成
 - ③ 民間事業者に対する技術的指導

[平成23年度に講じた施策]

- 富山県林業カレッジの研修による期待される役割に応じた人材の育成
 - ① 路網計画や長伐期施業計画、森林収支計画などの総合的な広域プランを作成することのできる技術者を養成しました。
【実績】研修期間10日間、6名養成
 - ② 施業地に適応する伐採・搬出の作業システムに対応した簡易で耐久性のある低コストな作業道を開設する技術者を養成しました。
【実績】研修期間5日間、5名養成
 - ③ 高性能林業機械のメンテナンス技術の習得、及び高度で熟達した機械操作技術の習得のための研修を実施しました。
【実績】研修期間3日間、5名受講
 - ④ 架線集材など高度な林業現場に従事する際に必要な技能習得のための研修を実施しました。
【実績】研修期間9日間、7名受講
 - ⑤ 林業への就業を支援する講習を実施しました。
【実績】講習期間19日間、25名受講
 - ⑥ 現場技能者を対象に林業を行ううえで必要となる基本的な知識・技能等の習得や作業班長等に必要知識・技能等の習得を段階的かつ体系的に育成するための研修を実施しました。
【実績】
 - ・フォロワー（1年次） 6月9日～ 1月18日（林業作業士） 11名受講
 - ・フォロワー（2年次） 6月3日～11月9日（林業作業士） 9名受講
 - ・フォロワー（現場管理責任者） 9月5日～10月18日 6名受講

低コスト作業道のルート選定実習



高性能林業機械のメンテナンス実習



フォレストワーカー育成研修



[平成24年度に講じる施策]

- 期待される役割に応じた人材の育成
県産材の低コスト生産を担う技術者の育成研修など、引き続き富山県林業カレッジ研修への支援を実施します。
- 林業への新規就業者の拡大
緊急雇用対策の支援制度を活用し、林業への新規就業につなげます。

「山を守る」—魅力ある山村社会の形成と森林の適正な管理・保全の促進—

[平成 23 年度に講じた施策]

- 山のみち地域づくり交付金事業の取組み
森林整備の促進や山村地域における生活環境の改善を図るため、地域の骨格的な林道となる「山のみち」を整備しました。

【実績】路線ごとの開設延長

・宮崎・蛭谷線	0.9 km	
・福平・東城線	0.2 km	
・有峰線	0.3 km	
・大沢野・八尾線	0.4 km	
・上平・福光線	0.7 km	計 2.5 km

森林整備を促進する林道（トラック運搬）



- 保安林の適正な管理
 - ① 公益上必要な森林について保安林に指定しました。
 - ② 保安林管理を強化するために、保安林等調査員を 8 名設置し、森林被害や保安林標識の破損等の調査を実施しました。

【実績】保安林種ごとの指定面積

・水源かん養保安林	71.1 ha	
・土砂流出防備保安林	50.4 ha	
・その他保安林	5.4 ha	計 126.9 ha

適正に管理されている保安林



- 森林病虫害に対する適切な防除の実施
 - ① 県下全域へと被害が拡大したカシノナガキクイムシを防除するため、従来からの防除対策と併せて簡易で効果的な防除方法（大量捕獲実証事業）にモデル的に取組み、実証効果を検証しました。
 - ② 海岸保安林など保全すべき松林を松くい虫被害から守るため地上散布や伐倒駆除を実施しました。

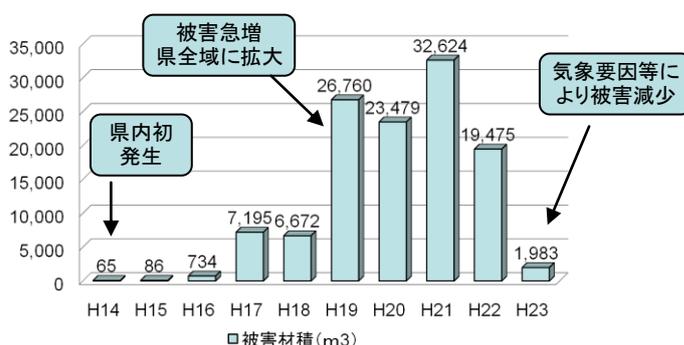
【実績】

・カシノナガキクイムシ対策		
伐倒駆除	13 市町	642 m ³
樹幹注入	12 市町	27,228 本（薬剤本数）
過年度枯損木除去	14 市町	3,367 m ³
（枯損木除去には水と緑の森づくり税を活用）		
大量捕獲実証事業		4 箇所
・松くい虫対策		
薬剤地上散布	2 市町	24 ha
伐倒駆除	5 市町	109 m ³
樹幹注入	8 市町	5,523 本（薬剤本数）

カシノナガキクイムシ大量捕獲実証事業



○ カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害状況の推移



ナラ枯れ被害分布図(H23)

● 災害に強い森林づくりの推進

台風・梅雨等の集中豪雨に起因した山地災害や、東日本大震災を教訓とした地震や津波等から県民の生命・財産を保全するため、災害に強い森林づくりを目指し治山施設の整備を進めました。

【実績】

- ・ 治山事業（南砺市他 12 市町 70 箇所）
- ・ 溪畔林整備指針策定調査 など

● 水源の森林づくりの推進

県民生活に安定的な水を供給するため、ダム上流等の重要な水源地域における荒廃地の復旧と併せて、本数調整伐等の森林整備を実施しました。

【実績】

- ・ 水源地域整備事業（南砺市他 4 市町 11 箇所）

● 山地災害危険地区の整備の推進

災害防止のため、治山施設の設置と周辺森林の整備等を一体的に実施しました。

【実績】

- ・ 復旧治山事業（富山市他 5 市町 16 箇所）
- ・ 予防治山事業（南砺市他 4 市町 13 箇所）
- ・ 地域防災対策総合治山事業（朝日町 2 箇所）

● 雪害防止対策の推進

なだれ防止林の維持・造成に努めるとともに、なだれ危険箇所に予防柵等を設置し、防止対策を実施しました。

【実績】

- ・ なだれ防止林造成事業（富山市 1 箇所）

● 海岸保全対策の推進

飛砂、潮風、高潮等の被害から人家、農地等を保全するため、海岸防災林の造成及び保育等の維持管理を実施しました。

【実績】・ 海岸防災林造成事業（入善町 3 箇所）

災害に強い森林づくり（南砺市小二又）



同上（富山市八尾町薄尾）



海岸保全対策の推進（入善海岸）



[平成 24 年度に講じる施策]

● 山のみち地域づくり交付金事業への取組み

路線毎に重点整備区間を設定し、予算の集中化により、事業効果の早期実現に努めます。

● 森林病害虫に対する適切な防除の実施

カシノナガキクイムシや松くい虫の被害拡大を防止するため、引き続き被害木の伐倒駆除や保全すべき樹木への薬剤注入、合成フェロモンを用いた誘引捕殺を実施します。

● 災害に強い山づくりの推進等

- ① 山地災害危険情報を住民へ周知し、住民の安全確保を図ります。
- ② 治山施設情報を活用し既存治山施設の適切な管理による豪雨時等の被害軽減に努めます。
- ③ 保安林等調査員の調査結果を、災害の早期復旧や保安林管理の適正化に役立てます。

IV 富山県森林・林業振興計画目標指標と実績

区分	指標番号	指標名	単位	実績		目標	
				基準年 (H17)	H23末	中間目標 (H23)	終期目標 (H27)
森を活かす	1	間伐実施面積（累計）	ha	15,379	27,219	27,000	29,000
	2	混交林の整備（H19～）	ha	—	693	1,000	2,000
	3	里山林の整備（H19～）	ha	—	1,296	1,000	2,000
	4	保安林の指定面積 （民有林）	ha	(H18) 91,410	92,198	91,900	92,300
	5	富山県森林吸収量確保推進 計画（H19～H24）	ha	—	11,232	10,580	(H24) 12,700
	6	施業集約化団地数 （累計 H20～）	箇所	—	113	100	150
	7	林道延長（累計）	km	1,655	1,701	1,720	1,763
	8	作業道延長（累計）	km	877	1,303	1,258	1,615
		林内路網延長（累計）	km	4,647	5,113	4,987	5,088
林内路網密度		m/ha	26.1	28.7	28.0	28.5	
林道密度		m/ha	8.7	8.9	8.9	9.1	
9	「森の寺子屋」の年間開催 回数	回	(H19) 46	95	60	80	
木を使う	10	県産材素材生産量	千m ³	(H18) 44	63	75	100
	11	乾燥材生産量の割合	%	(H16) 11.5	40.9	23	29
	12	公共施設等に使用する木材 に対する県産材の割合	%	70.6	59.7	76	80
人を育てる	13	林業従事者	人	(H16) 507	489	507	507
	14	林業に従事する際に必要と なる資格保有率	%	(H19) 30.9	45.3	45.5	60.0
	15	低コスト作業路開設技術者 養成数	人	—	20	20	40
	16	森林組合数	組合	8	4	2	2
	17	分収造林契約変更済延人数	人・団	—	2,676	4,945	6,182
	18	県民参加による森づくりの 年間参加延べ人数	人	1,672	10,775	6,000	7,000
	19	研究の実用化件数 （H19以降の累計）	件	—	8	10	18
山を守る	20	年間キノコ生産量	トン	3,357	3,435	3,525	3,525
	21	山地災害危険地区着手数	箇所	1,213	1,358	1,359	1,383
	22	なだれ危険箇所における整 備箇所数	箇所	196	203	202	206
	23	海岸保安林整備延長	m	3,382	5,028	4,455	5,175

（注）間伐材の利用を加速化するため、指標番号1「間伐実施面積」、指標番号5「施業集約化団地数」及び、8「作業道延長」の目標値を上方修正しています。

V 平成 23 年度の森林・林業に関する主な出来事

月 日	主 な 出 来 事
4月 1日	富山県公共建築物等木材利用推進方針策定
4月24日	とやまの森づくりボランティア交流会〔富山市天湖森〕
5月24日	富山県水と緑の森づくり会議（第1回）
5月26日	第12回とやま森の祭典〔朝日町棚山ファミリーランド〕 県民参加の森づくりフェア〔同上〕
5月31日	有峰線新ニクトンネル開通式〔富山市〕
6月 4日～12日	初夏のオープンハウス in とやま
6月 9日	富山県森林審議会森づくり部会（水と緑の森づくり事業の評価）
6月27日	富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会（第1回）
7月 1日	とやまの森づくりサポートセンター運営委員会（第1回）
7月25日～27日	花とみどりの少年団体験学習〔立山青少年自然の家〕
8月 1日	草刈り十字軍入山式〔富山市富岩運河環水公園〕
8月 2日	富山県森林審議会森林保全部会（林地開発の許可）
8月 6日	有峰森林文化村祭
8月 6日	こどもの城づくり「森の見学会」〔富山市割山森林公園〕
8月23日	花とみどりの少年団リーダー研修〔富山市呉羽少年自然の家〕
9月17日	とやまの森づくりボランティアの集い〔砺波市夢の平〕
9月28日	富山県税条例及び富山県森づくり条例の一部改正
10月 8日～9日	とやま木づかいフェア〔高岡テクノドーム〕
10月13日	富山県林業用優良種苗需給調整協議会
10月23日	飛越源流の森づくり 2011〔岐阜県飛騨市〕
10月30日	かぐや姫の里の集い〔上市町〕
11月 7日	富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会（第2回）
11月 8日	富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会現地研修
11月11日	富山県森づくりプラン（後期計画）策定
11月13日	県民参加の森づくりフォーラム〔富山市〕
11月18日	とやまの森づくりサポートセンター運営委員会（第2回）
12月16日	富山県森林審議会総会
平成 24 年	
1月27日	富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会（第3回） 新たな富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会の設立
2月16日	新たな富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会（第2回）
2月17日～19日	とやまの木せいひん展示会〔イオンモール高岡〕
3月 3日	とやまの竹資源ネットワーク講習会〔射水市〕
3月 3日	富山県フォレストリーダースキルアップ研修
3月 7日	とやまの森づくりサポートセンター懇話会
3月14日	県産材アドバイザーフォローアップ研修〔射水市〕
2月22日	富山県林業用優良種苗需給調整協議会
3月23日	新たな富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会（第3回）

お問い合わせ先 富山県森林政策課

〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 TEL(076)444-3385

富山県森林・林業振興計画は下記からダウンロードできます。

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1603/kj00009724.html